

## 子ども達がのびのび遊べる場所を増やそう！

**幸野◆冒険遊び場・プレイステーションの増設を◆**恋ヶ窪駅北側に移転する方向が示されているが、現在地を残す方向も模索してほしい  
**部長** プレイステーションを増設する計画は持っていない。まずは安定した運営を目指す×  
**幸野◆放課後子どもプランの拡充を◆**第一小学校で実施中のモデル事業を視察。一度帰宅せずに参加できる本事業を各校に拡大すべき。  
**部長** スペースの確保が難しいが研究する△  
**幸野**だから「平屋建て」は問題だと指摘してきた。可能性のある小学校は検討してほしい。  
**幸野◆児童館を全小学校エリアに◆**学童保育の狭あい改善・4年生以上受け入れが遅れている。

その緩和に加え、今夏の酷暑等、天候に左右されずに屋内で遊べる児童館を整備すべき。  
**部長** 一定、取り組むべき課題であると認識△  
**幸野◆スポーツ施設・学校の有効活用◆**として、朝や夕方時間帯で個人開放時間の検討を。  
**部長** それぞれの施設に応じて研究する△  
**幸野◆第十一小学校建造からのマネジメント◆**小学校児童数は2000年度～2023年度までに約1500名増加する見込みだが需要に対処できていない。学校を造る大胆な発想も検討すべき  
**部長** 考え方はわかるが、なかなか難しい×  
**幸野◆子育て支援サイトを早急に◆**企画段階から、市民の力を借りて創っていく方向を。

無会派(ここに幸あれ)  
幸野 おさむ



**部長** 一緒に作り上げることも一つの手法○  
**幸野◆高齢化に対応した遺族支援窓口を◆**故人の手続負担が問題になっている。先進的な大和市の「ご遺族支援コーナー」を国分寺市でも  
**部長** 出来る取り組みについて研究する△  
**幸野◆公共施設のバリアフリー化を◆**エレベーターやトイレ等、法に基づいて整備すべき。  
**部長** 必要に応じて対応可能な整備をはかる△  
**幸野◆公共施設の駐輪場・駐車場整備を◆**  
**部長** 不足している施設があれば考えていく△  
 ○=前向き、△=含み答弁、×=冷たい答弁

## 普遍的な判断に立った新庁舎の検討を！

**木村**=現在、市財政が潤沢になり、あれもこれもやろうという声もあるが、決して潤沢ではない。平成20～23年には2年10か月で60億円以上の基金が消えた。中長期的視野での財政運営を。  
**答弁**=基金総額は117億円だが、年々増加している扶助費や大規模災害への備えが必要。決して楽観できる財政状況とは考えていない。  
**木村**=同じ認識だ。しかし庁舎建設にあたり以前は65～70億円と言われていた建設コストが約100～138億円と示されたのは看過できない。この金額を前提とはせず、コスト削減を。  
**答弁**=この数字を前提とせず今後、一層の削減を念頭に置いて進めていく。

**木村**=庁舎移転は議会で2/3の賛成が必要だ。これは議員や時代が変わっても「庁舎はここが良い」と市民が納得できることを想定している。普遍的な判断に立ち庁舎の位置を検討すべきだ。  
**答弁**=行政としても、地方自治の安定性のための2/3議決であると考えており、同じ思いだ。  
**木村**=消防署が隣にある、武蔵国分寺公園に自衛隊ヘリが着陸できる等は市民にというより市役所にとってのメリットに見える。直下型地震では市内全域が被災地であり、恐らく移動も徒歩のみになる。それらを踏まえて、全市民に資する判断を。そのために住民投票を行うべきだ。  
**答弁**=自治基本条例に基づいて、今後の検討の

無会派  
木村 徳



結果によって考えていかななくてはならない。  
**木村**=2020年にはJR東日本自らが建設する新駅が開設され、その際には首都圏各駅の表示板やシステム改修が行われる。市単独で駅名変更を要請すると多額の経費負担が生じるが、今JRと交渉すれば多額の負担をせずに可能だが、恐らく最後のチャンスでもある。西国分寺駅を武蔵国の中心として武蔵国分寺駅へ変更の検討を。  
**答弁**=まちの魅力発信、ひいては経済効果も期待できる。武蔵国分寺を駅名にできたら非常に魅力的でありJRとも話をし前向きに取り組む。

## 第4回定例会陳情の 審議結果

第4回定例会では陳情11件を審議した結果、採択1件、継続7件、取り下げ2件、審議終了1件となりました。

### 《採択となった陳情》

**陳情第30-3号** 国分寺市内にドッグランの設置を求める陳情

### 《継続となった陳情》

**陳情第29-2号** 西国分寺駅東口開設を求める陳情  
**陳情第29-3号** 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情  
**陳情第29-6号** 西国分寺駅東口恋ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情  
**陳情第30-2号** 同性パートナーシップの公的承認に関する陳情  
**陳情第30-4号** 恋ヶ窪公民館にエレベーターの早期設置を求める陳情  
**陳情第30-5号** 通学において移動支援を利用

できるようにすることを求める陳情  
**陳情第30-6号** 国3・2・8号線(新府中街道)の総合的安全対策に関する陳情  

### 《取り下げとなった陳情》

**陳情第29-5号** 「日本軍『慰安婦』問題に関する意見書」の見直しを求める陳情  
**陳情第29-13号** 国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点を確保し提供することに関する陳情  

### 《審議終了となった陳情》

**陳情第30-1号** 国民健康保険税の引き下げを求める陳情

シリーズ

国分寺市議会⑧

## 補正予算審査 特別委員会

当初予算は、しっかりと見積もりをして作成していますが、予測できなかったことが起こり、過不足が生じることがあります。

このような時は、予算の補正(補正予算)が必要です。

補正予算は、定例会や臨時会で、市長が議案として市議会に提出し、議決を経なければなりません。

この補正予算の審査を行うため、市議会に設置される特別委員会のことを補正予算審査特別委員会といいます。

委員長は各会派の持ち回りとし、委員は会派の所属人数3人につき1人を選出、委員長を選出した会派は別枠で1人選出します。

ただし、複数の委員を選出する会派が委員長を選出した場合はこの限りではなく、また、無会派からの委員については、代表者会議でその都度協議します。

平成30年第4回定例会では、合計7人の委員で審査を行いました。

なお、この委員会で審査した内容を十分に踏まえ、本会議において採決を行います。

## 2月24日に 「日曜議会」を開催します

身近な、開かれた議会を目指します

平日に議会の傍聴に来られない市民の方に議会を傍聴していただけるよう日曜日に本会議を開催します。

多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2月24日(日)午前9時30分～  
 場所：市役所第1庁舎3階 議場  
 内容：市長の施政方針に対する代表質問

なお、市長の施政方針は、2月22日(金)午前9時30分から開始予定です。

